

## 「第9回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名（業務名）	令和2年度 大田静間道路鳥井地区外地質調査業務
	業務発注者名	中国地方整備局 松江河川国道事務所
発表者	所属協会名	島根県測量設計業協会
	所属会社	(株) 共立エンジニア
	発表者名	森脇 康能、守屋 敏明

### 発表事例の概要

<図表も含め1000字(40字×25行)程度以内>

#### 【業務の内容・技術的特徴】

本業務は、一般国道9号大田静間道路の静間地区～長久地区及び静間仁摩道路の五十猛地区～宅野地区における地質調査業務であり、計画路線の地質状況を詳細に把握することを目的とする。

調査計画の立案にあたっては、踏査等により各構造物周辺の地質状況を把握した上で適切な調査計画を立案した。

総合解析として、文献等を活用し、設計施工上の留意点を検討・選定した。また、五十猛トンネル終点坑口部調査では地質リスク評価を検討作成した。

#### 【表彰に至る高評価の要因】

以下のような点を高く評価していただけたものと考えている。

- 1) ボーリングおよび室内土質試験の追加提案および実施をすることで、調査結果の精度を高めることができた。
- 2) 発注者や関連のある受注者からの問い合わせ等に対し、迅速な対応を心掛けた。
- 3) 発注者からの指示で地質リスクの検討を実施した。

#### 【業務遂行上、苦勞した点や工夫した点等】

- 1) 地元関係者には作業内容を丁寧に説明するなど良好な関係の構築に努めた。
- 2) 地質リスクの検討として、現場の土質特性に合わせたNd値の活用、現場の地形特性に合わせた軟弱土の分布推定、既往資料を活用した地下水型の適用を工夫した。
- 3) 地質リスクの検討として、高度な技術（X線回折、定圧一軸せん断試験など）を活用した。